

科目名	アドバンスレッスン2							年度	2025
英語科目名	Advanced lesson 2							学期	後期
学科・学年	ミュージックアーティスト科ヴォーカリストコース 2年次	必/選	選	時間数	240	単位数	8	種別※	実習
担当教員	尾崎 久美子/横山 愛実/大山 桂祐/MALIYA/大森裕斗/三上 かおる/Haruna/鳥居 隼/渡部 紗矢/田中 綾美/鈴木 一義			教員の実務経験	有	実務経験の職種	ミュージシャン他		

【科目の目的】

プロのボーカリストとして必要不可欠な基礎力を身につけ、アーティストとして自立するためのスキルを習得します。基礎レッスンを行うとともに、音楽全般に関する知識を学び、シンガーソングライター、バンドボーカリスト、弾き語りなど一人ひとりのスタイルに合わせたトレーニングを実施。また、各種オーディションを受けるにあたっての準備、進め方を学び、実践していきます。

【科目の概要】

この授業は、ボーカリストとして必要なスキルを総合的に習得するための授業です。一週間の時間割はテーマごとに細分化されており、「ボーカルレッスン1」「ボーカルレッスン2」「ボイストレーニング」「ボーカルアンサンブル1」「ボーカルアンサンブル2」「コーラス」「楽器レッスン」「DTM」の8つに分かれます。※下記に記載されている授業テーマは、前期後期に共通する内容であり、別紙「アドバンスレッスン1」も同様である。※楽器レッスンは「Dance」「Guitar」「Piano」の内一つを選択する。

【到達目標】

- A. 個性を活かしたオリジナル曲ができる
- B. 楽器レッスンの各専攻パートの応用的な技術と知識を習得できる
- C. コーラスラインを自分で作ることができる
- D. Real Dreamsに向けた音源を制作できる
- E. 発表会でベストパフォーマンスができる

【授業の注意点】

専門学校は出席率100%が基本であるため、理由のない遅刻や欠席は認めない。
 教員の指示がない限り、授業と関係のない携帯電話・スマートフォンの使用を認めない。
 授業時限数の4分の3以上出席しない者は定期試験・評価課題を受験することができない。
 課題曲に対する下準備。楽器、譜面は忘れずに必ず持ってくること。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック評価	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力
到達目標 A	個性を活かしたオリジナル曲ができ、様々なテクニックを活用できる		個性を活かしたオリジナル曲ができる		個性を活かしたオリジナル曲ができない
到達目標 B	楽器レッスンの各専攻パートの応用的な技術と知識を習得でき、実際に活用できる		楽器レッスンの各専攻パートの応用的な技術と知識を習得できる		楽器レッスンの各専攻パートの応用的な技術と知識を習得できない
到達目標 C	様々なパターンのコーラスラインを作ることができる		コーラスラインを自分で作ることができる		コーラスラインを自分で作ることができない
到達目標 D	Real Dreamsに向けた音源を制作でき、オーディションに参加できる		Real Dreamsに向けた音源を制作できる		Real Dreamsに向けた音源を制作できない

到達目標 E	発表会でベストパフォーマンスでき、次の目標を設定できる		発表会でベストパフォーマンスできる		発表会でベストパフォーマンスできない
-----------	-----------------------------	--	-------------------	--	--------------------

【教科書】

【参考資料】
 毎回授業にて資料配布を行う
 参考書・参考資料等は授業中に指示をする

【成績の評価方法・評価基準】
 試験・課題 70% 課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価
 成果発表 20% 授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価
 平常点 10% 積極的な姿勢

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		アドバンスレッスン2			年度	2025	
英語表記		Advanced lesson 2			学期	後期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価	
1	機材知識	機材に関する知識を学ぶ	1	マイクの種類	マイクの種類について理解できる		
			2	マイクの指向性	マイクの指向性の違いを理解できる		
			3	ボーカルエフェクト	ボーカルエフェクトについて理解できる		
2	ボーカルレッスン2①	オリジナル曲指導	1	添削	メロディ、歌詞、構成をより良く改善できる		
			2	歌唱表現	個性を活かした歌唱表現ができる		
			3	パフォーマンス	ステージパフォーマンスができる		
3	ボーカルレッスン2②	アドリブテクニックを学ぶ	1	フェイク	フェイクの方法論を理解し実践できる		
			2	スキヤット	スキヤットの方法論を理解し実践できる		
			3	ラップ	ラップの方法論を理解し実践できる		
4	ボーカルレッスン2③	リズムグループのコントロールについて学ぶ	1	ジャスト	ジャストのリズムで歌唱できる		
			2	ブッシュ	ブッシュのリズムで歌唱できる		
			3	レイドバック	レイドバックのリズムで歌唱できる		
5	楽器レッスン①	応用知識を学ぶ	Da	ステップ練習	応用的なステップができる		
			Gt	アルペジオ奏法	アルペジオ奏法を習得できる		
			Pf	アルペジオ奏法	アルペジオ奏法を習得できる		
6	楽器レッスン②	基礎練習をする①	Da	ジャンル	様々なジャンルのダンスを踊れる		
			Gt	メロディ演奏	メロディをスムーズに演奏できる		
			Pf	メロディ演奏	メロディをスムーズに演奏できる		
7	楽器レッスン③	基礎練習をする②	Da	ダンスボーカル	ダンスボーカルができる		
			Gt	弾き語り	ギターの弾き語りができる		
			Pf	弾き語り	ピアノの弾き語りができる		

8	コーラス2①	英語のネイティブな発音について学ぶ	1	発音記号	英語の発音記号の種類を理解し発音ができる
			2	口と喉の形	発音時の口と喉の形を意識できる
			3	舌の動き	発音時の舌の動きを意識できる
9	コーラス2②	コーラスラインの基本的な作り方と考え方を学ぶ	1	3度上/3度下	メロディに対して3度上/3度下のラインを作れる
			2	コード構成音	メロディに対してコードの構成音を利用したラインを作れる
			3	ユニゾン/オクターブ	ユニゾン/オクターブ上下のラインを作れる
10	コーラス2③	コーラスラインのアイデアを学ぶ	1	字ハモ	メロディに対して字ハモでコーラスできる
			2	カウンターライン	メロディに対してカウンターとなるラインを作れる
			3	ウーアー	ウーアーなどを利用したラインを作れる
11	オリジナル作品制作①	エフェクトを活用する	1	補正系	補正系エフェクトの使い方について理解できる
			2	空間系	空間系エフェクトの使い方について理解できる
			3	センドリターン	センドリターンの使い方について理解できる
12	オリジナル作品制作②	エクスポートの種類を学ぶ	1	ファイル形式	ファイル形式の種類について理解できる
			2	サンプリングレート	サンプリングレートの種類について理解できる
			3	ビットレート	ビットレートの種類について理解できる
13	オリジナル作品制作③	Real Dreamsに向けた音源を制作する	1	楽曲・オケ制作	Real Dreamsに向けた楽曲とオケを制作できる
			2	歌詞作成	楽曲の歌詞を作成できる
			3	レコーディング	レコーディングして音源を完成させられる
14	発表会準備	発表会の準備をする	1	パフォーマンス指導	ステージパフォーマンスを改善できる
			2	歌唱指導	歌唱について改善できる
			3	オケ制作	使用するオケを制作、準備できる
15	発表会	発表会を実施する	1	リハーサル	スムーズにリハーサルを進行できる
			2	本番	本番でベストのパフォーマンスができる
			3	講師からの講評	本番を振り返り、自分の課題を発見できる

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等